

平成25年度県立広島大学教員免許状更新講習・講座一覧

講座番号	講習の名称	講習の概要	担当講師	講習の開催地	時間数	講習の期間	主な受講対象者	受入予定人数 (最少開催人数)
1	英語学と英語教育の理論と実践	本講座は、英語教育の背景となる基礎理論を学び、実践への応用を図ることを目的とする。具体的な指導法を考察するにあたり、次の各項目を中心とした講義及び実習を行う。1)言語と思考と文化の関係を論じる言語理論、2)英文読解指導のためのワークシート作成講座、3)日英語対照音声学と音声音響分析の応用による発音指導、4)コーパス言語学や辞書学から見た語彙指導	船津 晶代(人間文化学部教授) 本岡 直子(保健福祉学部教授) 馬本 勉(生命環境学部教授) スティーブ・ルイス・ローゼン (人間文化学部准教授)	広島キャンパス (広島市南区)	12時間	平成25年8月12日～ 平成25年8月13日	中学校・高等学校 英語科教諭	30人 (3人)
2	古典教育に活かす中国文学及び日本文学研究の成果	伝統的な言語文化の理解に重点を置く新学習指導要領の特色を踏まえ、日本における古典知の形成と展開について考える。日中双方の視点でその本質と魅力を講じる「中国文学」、古典文学の特質と展開を和歌・物語・謡曲などを視点として講じる「日本文学」の2領域で構成し、日本の言語文化についての理解を深めることをめざす。	石川 一(人間文化学部教授) 樹下 文隆(人間文化学部教授) 西本 寮子(人間文化学部教授) 丸山 浩明(人間文化学部教授) 柳川 順子(人間文化学部教授)	広島キャンパス (広島市南区)	12時間	平成25年7月27日～ 平成25年7月28日	中学校・高等学校 国語科教諭	30人 (3人)
3	日本史(歴史)教育に地域史研究の成果をどう活かすか(その1)	身近な地域の歴史や文化遺産の学習を通して歴史への関心を高めることを求めている学習指導要領に対応するため、広島県地域を対象とする最新の研究成果(戦国大名毛利氏を中心とする地域史研究)を紹介しながら、新たな知見を日本史(社会科)の授業の展開にどのように活かしていくのかを考える。	秋山 伸隆(人間文化学部教授)	広島キャンパス (広島市南区)	6時間	平成25年7月27日	中学校社会科・ 高等学校地歴科 教諭	40人 (3人)
4	日本史(歴史)教育に地域史研究の成果をどう活かすか(その2)	身近な地域の歴史や文化遺産の学習を通して歴史への関心を高めることを求めている学習指導要領に対応するため、広島県地域を対象とする最新の研究成果(厳島神社を中心とする地域史研究)を紹介しながら、新たな知見を日本史(社会科)の授業の展開にどのように活かしていくのかを考える。	松井 輝昭(人間文化学部教授)	広島キャンパス (広島市南区)	6時間	平成25年7月28日	中学校社会科・ 高等学校地歴科 教諭	40人 (3人)
5	健やかな心身の育成指導の充実に関する講習	本講座は、「体力の向上」と「食育の充実」を中心として健康的な生活習慣の形成に重点を置く学習指導要領の特色を踏まえ、健康的な生活習慣形成を考える際の基礎的理解を深めることを目的とする。健康の維持・増進に深く関わる「体育」「病理」「食育」という視点から、その最新の動向・知見について講じる。	嶋本 文雄(人間文化学部教授) 中瀬古 哲(人間文化学部教授) 西田 由香(人間文化学部准教授)	広島キャンパス (広島市南区)	6時間	平成25年7月13日	全教諭 養護教諭	50人 (3人)
6	食料供給と生命科学の接点	食料供給をはじめとする農業の各分野の将来のスペシャリストを育成し、産業界における農業の役割を確実に理解させ、創造性、科学性及び実践力を育成するには、生命科学の先端技術やその理論を基盤とした指導の下に、生徒の主体的な学習指導が不可欠である。本講習では、主として食料供給に関する科目のうち、野菜、食品化学、農業経済に焦点をあて、生命科学の最先端の理論を含めて解説する。	佐藤 之紀(生命環境学部教授) 甲村 浩之(生命環境学部准教授) 村田和賀代(生命環境学部准教授)	サテライトキャンパス (広島市中区)	6時間	平成25年7月26日	高等学校農業教諭	30人 (3人)
7	環境問題の理解と理科教育	近年、様々な環境問題が注目を集めると共に社会生活を含む人間活動の在り方が問われている。即ち、環境問題は、これからの人の生き方を左右する事柄であると言えるが、その問題点を正しく理解するためには、科学リテラシーの醸成が必須である。本講習では、最新の環境問題を通して理科的知識習得の必要性についての理解を促す。	加藤 一生(生命環境学部教授) 崎田 省吾(生命環境学部准教授) 西村 和之(生命環境学部教授)	サテライトキャンパス (広島市中区)	6時間	平成25年8月8日	中学校・高等学校 理科教諭	30人 (3人)
8	特別支援教育講座Aー広汎性発達障害・ADHD等の理解と支援	学習障害児(LD)、注意欠陥多動性障害(ADHD)、高機能自閉症等の発達障害児に対する適切な指導が教育現場に求められている。この講座では、医師、作業療法士、言語聴覚士の資格を有する教員により、発達障害児の行動や情緒、コミュニケーション、学習上の問題を最新の医学的知見から理解し、その具体的な指導法について教授する。	林 優子(保健福祉学部教授) 玉井 ふみ(保健福祉学部教授) 土田 玲子(保健福祉学部教授) 山西 葉子(保健福祉学部助教) 細川 淳嗣(保健福祉学部助教)	三原キャンパス (三原市)	6時間	平成25年8月19日	全教諭 養護教諭	100人 (3人)
9	特別支援教育講座Bー知的障害・肢体不自由等の理解と支援	本講座では、医師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士等の資格を有する教員が、知的障害・肢体不自由等に対する最新の医学的知識や姿勢・運動、コミュニケーション、問題行動への支援等について具体的に教授する。	林 優子(保健福祉学部教授) 玉井 ふみ(保健福祉学部教授) 土田 玲子(保健福祉学部教授) 島谷 康司(保健福祉学部准教授) 長谷川 正哉(保健福祉学部講師) 山西 葉子(保健福祉学部助教)	三原キャンパス (三原市)	6時間	平成25年8月20日	全教諭 養護教諭	50人 (3人)
10	学校現場に活かす社会的スキル訓練(SST)の考え方と実践技術	学級経営の成否は、教師が生徒や保護者との人間関係をいかに円滑に形成するにかかっている。こうした問題を改善する一つの方途として、相手を理解し、自分の考えを適切に相手に伝えて、対人関係を良好にする技術である社会的スキル訓練(SST)が注目されている。SSTを学校教育にいかに活用・実践していくか、先行実践事例やコミュニケーションに問題を抱えた子どもの事例等を検討しながら、心理教育のポイントを学ぶとともに、教師自身の社会的スキル向上のためのコツを会得する。	中谷 隆(保健福祉学部教授) 吉彰(保健福祉学部准教授) 細羽 竜也(保健福祉学部准教授) 堀江 真由美(保健福祉学部助教)	広島キャンパス (広島市南区)	6時間	平成 25 年8月19日	全教諭 養護教諭	100人 (3人)